

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
ネットワークの構築	保護者向け進路先事業所紹介	P. 40	9月28日開催 「事業所紹介とパネルディスカッション」 市内福祉サービス6事業所の個別ブースにて面談	保護者、児童合わせて20名が参加された。 保護者への呼びかけができ、繋がりができた。	終了・ <b>継続</b> → 同じ <b>変更</b>	将来の居場所を知るきっかけとなるよう継続していく
	支援の必要な児の入園に関する関係機関との意見交換	P. 40	意見交換会中止	今年度は保育園への入園に関して、スムーズに対応ができた。 意見交換会の際は、2/14の全体会にて行った。	<b>終了</b> ・継続 → 同じ ・変更	幼児教育・保育課が、スムーズに対応された。
	こども連絡会での意見交換	P. 40	①6月10日開催 ライフステージにおける切れ目のない支援についての意見交換会 参加者21名  ②2月14日開催 参加者19名	①小さい頃からのフォローが大切で保護者の相談先や、居場所についてなどを話し合うことができた。  ②支援が必要な児の保育園入園状況についてや、保育園申請から、受け入れまでの流れなどを把握することができた。	終了・ <b>継続</b> → 同じ ・変更	各関係機関と顔を合わせる場や、意見交換を行うことで、現状を知ることや課題出しができる

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
サービスの質の向上 子ども・子育て支援における障がい児の受け入れ推進 障がい児支援・早期療育の充実	①事業所部会の発足 第一回事業所部会にて次のとおり、グループを編成し、企画・実施する。 ・事業所見学会 ・事例検討会 ・研修部会 ・ガイドブック部会 ・管理者会 ・就職フェア実行委員会	P. 41	5月23日開催 参加者23名	集まりの中で、他事業所を知ることや、横の繋がりができた。 虐待通報対応についての情報共有ができた。	終了・継続 → 同じ・変更	小牧市内の子どもの事業所の集まりを継続し、サービスの質の向上に繋げていく
	②事業所見学会	P. 38 P. 40	11月実施 見学受入れ55事業所参加	他事業所の内容を見学することや、ライフステージの中で必要な資源の見学をすることで、環境の工夫や、支援での学びがあった。	終了・継続 → 同じ・変更	来年度は年2回を想定し、事業所や、保護者、学校関係等を対象に見学会を行う。目的は事業所間は横のつながりと連携、保護者や学校向けは事業の周知啓発とする。
	③事例検討会	P. 41	10月25日実施 事業所で対応に困っているケース、将来に繋げていける支援のための事例検討会 参加者19名	対応に苦慮しているケースの支援の仕方や、将来の進路、生活に繋げるための支援、保護者への伝え方などを、グループに分かれて、共有しながら、アイデアを出し合うことができた。	終了・継続 → 同じ・変更	来年度も、児への対応に適切に関わっていけるよう、事例検討を継続し、スキルアップや、質の向上に繋げていく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
	④管理職員会	P. 41	1月30日開催 報酬改定についてや、実地指導で指摘されたこと、職員育成についてなど、サービス事業所の管理職員同士で共有する機会となった。 参加者22名	制度の理解や適切なサービスの運用、情報共有、職員育成など、取り組んでいることを共有することができた。	終了・ <b>継続</b> → <b>変更</b> → 同じ	今後も管理職員間で、それぞれの事業所の取り組みを共有し、サービスの質の向上に繋げていく。
	◇療育支援事業との協働  児童クラブ、放課後等デイサービス事業所とのケース検討会	P. 41	6月3日実施 参加者36名	それぞれの児童クラブの現状を知ることができた。児童クラブ・保護者・学校・放課後等デイサービス・市役所などとの連携が大事であることが分かった。児童デイと、児童クラブとの情報交換ができた。	<b>終了</b> ・継続 → 同じ・変更	療育支援事業についての次年度以降の取組みについては次のとおり。  1) こども連絡会として企画・実施するもの 2) 相談支援連絡会として企画・実施するもの 3) 医療的ケア児等コーディネーター業務として企画・実施するもの
	保護者対象 「障がい児への関わりで感じている困難さ」の勉強会		8月22日 コロナ禍での開催であったことも影響したか、申込者がなく中止した。		終了・継続 → 同じ・変更	4) 1～3ではない企画・実施については、障害者自立支援協議会事務局として、企画者と協議のうえ、主に周知活動にのみ協力する

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
	◇療育支援事業 保育園にて、見学及び事例検討会	P. 41	保育園での児童の様子を見学し、グループワークでどのようにサポートしていくのかを検討した。 6月22日実施 参加者23名	児童の様子を見ることや、関わり方を話し合うことができ、今後の関わり方を学ぶ機会になった	終了・継続 → 同じ・変更	障害児等療育支援事業は、地域の支援者者の人材育成が目的。 協働できるところは今後も活用していく。
	北里保育園での事例検討会	P. 41	11月9日開催 参加者23名	北里保育園の園児の様子観察から見てきた気づきをグループワークで話し合い、今後の支援を検討することができた。	終了・継続 → 同じ・変更	
	児童発達支援センターしっぷケース検討会	P. 41	12月5日開催 参加者26名	児の特性理解を深めることや、家族をどう支えていくか、関係機関との連携についてをグループワークで話し合うことができた。	終了・継続 → 同じ・変更	
	あさひ学園保育見学及び意見交換会	P. 41	11月28日開催 参加者 17名 (プラスあさひ学園職員同席)	幼稚園5園との意見交換会を行った。お互いの現状を把握し、各園と連携を取っていく関係性ができてきた。	終了・継続 → 同じ・変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
障がいに関する理解の促進	こども連絡会事業所ガイドブックの更新	P. 32	各連絡会の部会担当で話し合い、掲載内容や、色、文字帯などを統一した。	市民の皆様に見やすいガイドブックに仕上げる事ができた。 サービス事業所及び、関係機関に3月以降で配布予定。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	来年度からは、新規事業所や、記載情報の変更があった箇所のみ、修正していく。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更











